

輸送経済新聞に「北大阪ロジスティクスセンター」 新設についての記事が掲載されました

8月10日(火)発行の輸送経済新聞7面に、2023年4月に新設予定である「北大阪ロジスティクスセンター」についての記事が掲載されました。

当センターの特徴や利便性の高さが紹介されている他、長期経営ビジョン達成に向けた今後の展望について掲載されています。是非ご覧ください。

【「北大阪ロジスティクスセンター」特設サイト】

<https://higashi21-kitaosaka.com>

西日本ブロック特集

23年春、大阪茨木に新C 提案力強みに成長狙い

ヒガシトゥエンティワン

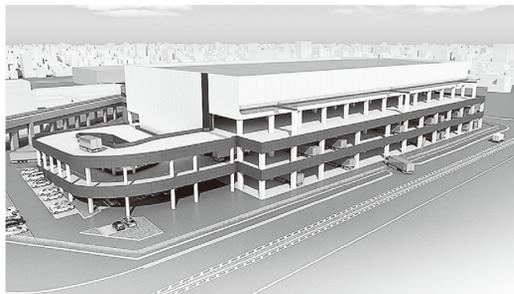
車可能だ。

さらに大阪都心部まで約10キロ、北大阪トラックターミナルと近畿自動車道摂津北インターチェンジから約1キロと広域配送も視野に入れる。福永次長は「関西の中でも抜群の立地。顧客ニーズに即した提案力を武器に誘致を進め、早期満床を目指す」としている。

ヒガシトゥエンティワン(本社・大阪市、児島一裕社長)は、成長事業の一つに3PL事業を掲げ、2023年4月に延べ床面積約1万9000平方メートルの「北大阪ロジスティクスセンター」II完成予想図IIを開設する。培ってきたセンター運営ノウハウを糧に、新規顧客を誘致する積極的な姿勢を打ち出し「強みの物流コンサルティングを發揮したい(新井慶景執行役員)とする。

北大阪ロジスティクスセンターの所在地は、大阪府茨木市宮島。泉北高速鉄道が建設を進める「食品流通センターE棟」の3・4階に入居する。フロア別の延べ床面積は3階約5700平方メートル、4階約1万平方メートル、高さは5・5メートル、床面積1・5メートル。貨物用エレベーター2基、垂直搬送機4基を設ける。

営業企画開発部の福永



「北大阪ロジスティクスセンター」の完成予想図

哲平次長は「利便性の高さ、充実したパース数、待機用駐車場を保有し、T/C(通過型センター)とD/C(保管型センター)双方の業務に適する」と話す。3階までトラックが直接乗り入れられるランプウェイを設け、片面パースは大型トラック31台、小型3台が接車できる。パース向かいには大型34台、小型3台が駐車可能だ。

首都圏、東海へ進出も視野

23年3月期を最終年度

とする3力年中期経営計画では、3PL事業の売上高を14億円(20年3月期)から4倍超の57億円とする目標を打ち立て、「進ちよくは計画通り」(新井執行役員)。急速に市場が拡大するEC向けを軸に、19年にニッセイロジスティクスセンター(大阪府東大阪市、延べ床面積約3万3000平方メートル)、20年に門真総合物流(同門真市、同約1万6000平方メートル)を相次いで開設。顧客と共同歩調を取り、保管、仕分けから自社トラックの配送といったワンストップのサービスを展開。「現場力は着実に高まり、自信につながっている」と福永次長は話す。

前期に前の中計目標を1年前倒しで達成したことを機に、30年を最終年度とする新たな長期経営ビジョンを策定。3PL事業を含む重点事業が売上高に占める割合を、20年3月期の30%から30年3月期には63%に伸ばさざる。関西3センターで得られる運営実績を基に、首都圏や東海地区に進出し、グループの核となる事業に変貌させる狙いだ。

(遠藤 仁志)

(輸送経済新聞社様の許可を得て掲載しております)

(株)ヒガシトゥエンティワン (証券コード：9029 東証二部)

◆問い合わせ先

担当者：企画部 久原

TEL：06-6941-1763

E-mail：d-kuhara@e-higashi.co.jp

HP：https://www.e-higashi.co.jp/

◆会社概要

代表者：代表執行役社長 児島 一裕

事業内容：総合物流事業

設立：昭和19年12月20日

従業員：998名 (2021年3月31日現在)

資本金：10億円